

ミズベリング勉強会(1) 水辺で民活「官民連携かわまちづくり勉強会」

関東ミズベリング勉強会(第1回)
 日時:平成30年7月10日(火)14:00-17:00
 場所:さいたま新都心合同庁舎2号館5A研修室
 参加:30団体70人(自治体9、企業13、国8)
 プログラム
 1. 資源としての河川利用の高度化 【水管理・国土保全局河川環境課】
 2. 官民連携かわまちづくりの進め方 【関東地方整備局河川環境課】
 都市再生整備計画を活用した河川のオープン化
 3. 多摩川流域まちづくり勉強会の紹介 【東急電鉄】
 ※企業・自治体・河川管理者が参加する勉強会
 4. 羽田空港跡地かわまちづくり計画の紹介 【大田区】
 水辺の商業利用の話題提供
 5. 大学生観光まちづくりコンテスト2018多摩川ステージとは 【JTB】
 多摩川の資源を活かした観光まちづくり



関東ミズベリング勉強会の概要説明

- 制度や取り組み紹介とともに、具体的な関係者に登壇頂き、参加者と情報交換を行い、連携のきっかけも期待する勉強会
- テーマ:水辺で「稼ぐ」(生産性向上)
 - ①水辺を楽しむ人を増やす
 - ②水辺で街を変える人を増やす
 - ③水辺で新しいビジネスを作る人を増やす
- 平成30年度内に6回前後で構成見込み

関東ミズベリング勉強会(1)の主旨説明

『使いこなし』という視点

1. 場所を使いこなす
2. 制度を使いこなす
3. 人・技を使いこなす

(知恵)

↓

- ・市街地開発事業に合わせて、
- ・水辺の利活用を計画すると、
- ・企業と地域と行政が得をする、ための勉強会

国土交通省生産性革命プロジェクト(第4版)

～官民が連携して河川空間を活用することで、地域の経済活動・社会活動の生産性を向上～

施策

水辺の利活用による地域活性化

民間事業者による河川敷地の一体的な活用
～高規格堤防の整備～

効果(例) 大田市 運動場川

平成23年3月に河川敷地を民間に開放したことにより、民間事業者の参入を促し、地域の活性化を促進

効果(例) 大田市 運動場川

平成23年3月に河川敷地を民間に開放したことにより、民間事業者の参入を促し、地域の活性化を促進

国土交通省生産性革命プロジェクト(第4版)

～官民が連携して河川空間を活用することで、地域の経済活動・社会活動の生産性を向上～

施策

水辺の利活用による地域活性化

民間事業者による河川敷地の一体的な活用
～高規格堤防の整備～

効果(例) 大田市 運動場川

平成23年3月に河川敷地を民間に開放したことにより、民間事業者の参入を促し、地域の活性化を促進

効果(例) 大田市 運動場川

平成23年3月に河川敷地を民間に開放したことにより、民間事業者の参入を促し、地域の活性化を促進

